

日本語のとりたて助詞と話者の評価

講師：井戸 美里氏

国立国語研究所 理論・対照研究領域 プロジェクトPDフェロー

日時：2021年11月19日（金）16:20～17:50

開催形態：Zoom（お申し込みの方にURLをお知らせします）

現代日本語には、他言語には対応するものがないような話者の評価や態度を表す助詞が多くある。例えば、「優勝なんかできないよ」の「なんか」に対応するような英語の表現はなく、"I can't win a championship."のように表現される。その他の言語でも、「なんか」に対応する要素が用いられる言語は多くない。日本語には、このような話者の認識を含みとして表す主観的な助詞が「なんか」以外にも「でも」「とか」「こそ」など多く見られ、「とりたて助詞」や「とりたて詞」と呼ばれ、日本語のシステムに欠かせないものとなっている。この講演では、日本語のとりたて助詞の特徴を紹介し、その中でも特に「なんか」のような話者の評価を表すとりたて助詞がどのような意味や文法的性質を持っているのかを、現象をとおして考える。

事前申し込み：要 以下のURLまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/11w558Ny8M51VxfL6>

参加費：無料



【問い合わせ先】

小泉政利（東北大学大学院文学研究科言語学研究室）

koizumi/at/tohoku.ac.jp (/at/を@に変えてください)

注意：本講演会の模様を録画・撮影したり、資料を転用したりすることはお断りします。